

進路に向けて2学期の動き

2学期になると、3年生諸君は進路決定に向けて本格的に動き出すことになります。受験生の夏を経てレベルアップは果たせたでしょうか。1, 2年生諸君は、3年生の2学期になるとこのような動きになるのだということを、今のうちからイメージしておきましょう。

一般受験に挑む諸君

夏に蓄えた知識が学力となって実を結ぶのは、早くても10月からです。9月はジリジリする日々が続きますが、気持ちを切らさずに勉強し続ける必要があります。また、模試も全国模試は10月末で終了してしまいます(大学オープン模試や共通テスト模試を除く)。そこから先は孤独な戦いとなりますが、気持ちを切らさずに受験勉強に取り組んでいかなければなりません。ともに挑む仲間と励ましあいながら、前を向いて(視線を下げずに)頑張らしましょう。



総合型選抜に挑む諸君

志望大学は調べおわっているでしょうか、いよいよ志望理由書の作成になる時期です(すでに始まっている諸君もいます)。志望理由書は自己アピールの重要な場ですので、いかに自分がその大学に行きたいのかをアピールする内容になっていなければなりません。付け焼刃な内容だと薄っぺらいものになってしまうので、何度も書いてみることで、複数の先生からチェックを受けることをお勧めします。複数の先生と話す中で見えてくることもありますので、ギリギリまで一人で抱え込まずに積極的に相談してください。また総合型選抜では基本的な学力試験が行われる場合も多いので、勉強の方もおそろかにならないようにしましょう。面接の練習についてもやっておく必要があります。総合型選抜はすでに出願の始まっているところが出てきています。出願に関しても余裕を持ってできるようにしましょう。

学校指定推薦に挑む諸君

指定校推薦に関しては書類に記載される成績がすでに確定しているとはいえ、勉強をしないしていると入学後の学力面で一般入試組と大きく差ができてしまうと言われてます。普段の授業もこれまでと同じかそれ以上の熱量で取り組んでください。また推薦の審議に関してはこれからですので、まだまだ予断は許せません。気持ちを引き締めておいてください。面接の練習についてもやっておく必要があります。また、合格が出るのは12月に入ってから(一部は11月下旬から)が一般的です。気持ちを切らさずに過ごすことにしましょう。公募制推薦に関しては、必ずと言っていいほど学力試験が課されますので、一般入試組と同等の勉強が必要です。



就職・専門学校を考えている諸君

就職試験の解禁は今年16日です。進路指導室の就職担当の教員によく相談しておくようにしてください。専門学校に関しても、総合型選抜の出願が始まっています。大学受験の総合型選抜と同じように、志望理由書の書き方一つで面接内容も変わってきますので、きちんとチェックを受けておくと同時に、面接の練習も怠らないようにしましょう。

共通テスト出願について

来年1月14・15日に実施される「大学入学共通テスト」の出願の時期になってきました。3年生諸君には、どのような進路希望であっても全員に願書が1部ずつ配布されます。現役生はすべて「学校を通しての出願」になります(個人で出願はできません)。出願する生徒は、以下の点に注意してください。

- 締め切りは9月22日(木)：担任の先生に志願票を提出してください。
- 記入ミスや記入漏れがないようにしてください。
- 清書した志願票はコピー(白黒可)を必ずとっておいてください。
- 検定料を事前に払い込み、「E検定料受付証明書」を志願票の裏面にきちんと貼り付けてください(締め切りの日に検定料の払い込みが済んでいないという生徒が毎年います)。
- 受験上の配慮を希望する場合は、受験案内の15~17ページをよく読んで各自で対応してください。

毎年、記入ミス、記入漏れ、検定料払い込みが済んでいないなどといったトラブルが多発しています。共通テストの出願は、模試の申し込みではなく本番の出願です。担任に提出する前に保護者にもチェックしてもらうなど、万全を期してください。

令和5年度
大学入学共通テスト
受験案内

出願期間	令和4年 9月26日(月) ~ 10月6日(木) (消印有効)
試験日期日	令和5年 1月14日(土)・15日(日)

※ 受験料は、前記の受験料表に添付の「受験料表」を添付し、受験料の納入が必須です。
この「受験料」は15~17ページに添付し、「E検定料受付証明書」を添付してください。
この「受験案内」は、大学の入学事務課から事前に配布されています。

独立行政法人 大学入試センター

1, 2年生の2学期の進路イベント

1学期末に、「夢ナビプログラム」の個別シートが配られたと思います(登録が済んだ生徒対象)。夏休みは講義動画を視聴されたでしょうか。この時期に自分の進路について考えておくのは非常に有益です。登録ができていれば講義動画は引き続き視聴できますので、いろいろな動画を視聴してみてください。

また、10月5日(水)に、大学関係者にご来校いただき、大学とはどのようなものか、大学で学ぶこととはどういうことかを含めたガイダンスを行う予定です。



* 夢ナビ講義動画は興味深い動画が満載



* 写真は昨年度中央大学に来校いただいたときのものです。



赤本について

進路指導室に置いてある赤本（大学別入試問題過去問習。過去3～5年分の、実際に出题された問題が掲載されています）ですが、閲覧のみではなく、短期間ではありますが貸し出しも行っています。期間は最長で1週間を目安にしていますが、他に使いたいという生徒もおりますので、早く返却できる場合はできるだけ早く返却してください。

なお、進路指導室や職員室での赤本のコピーは行っておりません。また、すべての大学の赤本を網羅しているわけではありません。そのため「〇〇大学の赤本を入れてほしい」というリクエストには応じかねますのでご了承ください。

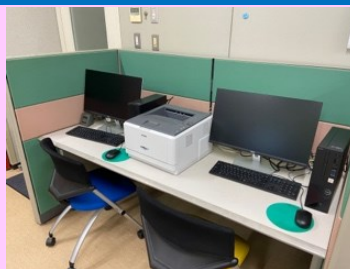


*左は私立大学、右は国公立大学になります。今年度は東京および近隣の国公立大学を補充しました。今年度は閉架扱いですので、進路指導室の教員に問い合わせてください。



進路指導室のPCについて

進路指導室には生徒用PCが2台常備されています。大学などの情報検索のために活用できるようになっています。進路指導室に常駐している教職員に一声かけていただければいつでも使用することができます。なお、プリントアウトすることも可能ですが、その場合は進路情報関連のものに絞らせていただきます。また、ネット出願の際に、家庭にプリンタがないような場合でも、このPCで対応することが可能です（家庭にプリンタがある場合はそちらを使用してください）。



面接試験で注意したいこと

学校推薦型選抜、総合型選抜などでは、必ずと言っていいほど「面接試験」が行われます。事前に準備・練習して本番に臨むのは当然のことではありますが、実際に面接試験を受ける場合、どのようなことに注意すればいいのでしょうか。

大学受験とは異なりますが、就職活動においては必ず面接が行われます。その際に注意すべきことはネット上にもいろいろと挙がっています。それをご紹介します、

- ◆清潔感に欠ける ◆表情が暗い、反応が薄い ◆態度が悪い ◆内容や論点がわかりにくい
- ◆会話がかみ合わない ◆自分本位に話し始める ◆事前の情報収集不足 ◆話の内容が矛盾している ◆志望動機が不十分 など

となっています。これは比較的そのまま大学入試などでも当てはまるのではないのでしょうか。「態度が悪い」というのは論外だとして、まずは「清潔感に欠ける」という部分では、頭髪の問題があります。

服装もこの中に入ってくるでしょう。「表情が暗い・反応が薄い」という点については、面接官からすると「何を考えているのかわからない」という判断につながる可能性があります。「志望動機が不十分」という点についても、志望理由書を作成しているから大丈夫だろうなどと思っはけません。提出されている志望理由書に基づいて、そこには書かれていないものを読み取ろうとして質問が投げかけられる場合もあるわけです。その際に、「軸がブレている」と思われては困りますし、数ある大学の中からどうしてそこにしたのが「自分の言葉で」語れるようにしたいところです。「会話がかみ合わない」についても、想定される質問に対して用意した答えしか話せないとなくなってしまうと、どうしてもかみ合わなくなってしまうかもしれません。なお、コロナ禍でオンライン面接が定着しましたが、そのためのネット環境整備も重要であることを覚えておきましょう。

礼儀正しく、声は大きくハキハキと、というのは当然だとして、最低限、入学したいという強い気持ちと、入学後のヴィジョンを論理的に「自分の言葉で」話すことができるようには準備してきたいものです。



トピックス

データサイエンスの流行？

一橋大学が60年ぶりに新しい学部「ソーシャル・データサイエンス学部」を新設するそうです。これより先にも、いろいろな大学でデータサイエンスに関する学部・学科・コースの新設が相次いでいます。オンラインの百科事典を見てみますと、データサイエンスとは、「データを用いて新たな科学のおよび社会に有益な知見を引き出そうとするアプローチのことであり、その中でデータを扱う手法である情報科学、統計学、アルゴリズムなどを横断的に扱うもので、統計的、計算的、人間的視点から俯瞰することができる」とあります。その応用分野は人文科学へも波及するというので、今後は非常に重要な学問領域となっていくそうです。ちょっと関心がある方は調べてみてはいかがでしょうか。

大学の教科書

大学にも教科書はあります。しかも高校までと違ってかなり高額になる場合があります。しかし最近教科書を買わずに済ませようとする学生が多発しているそうです。教科書を買わずに何とかして単位だけもらおうとする学生が必ず一定数いて、先生たちは頭を悩ませているそうです。ITが発達したとはいえ、まだまだ紙の教科書が必要な場合があります。大学に行ったら、高校までとは比較にならないくらいの値段が教科書にかかることもあります。ただ、大学の教科書は一生ものですので、お金をかける価値はあるのですが……



「今の大学生はパソコンのキーボードが打てない」という話を耳にしました。スマホ、タブレットが普及し、若い人たちはキーボードで文字を入力するよりも、スマホの画面でフリックで入力するのが当たり前になったのか、いざキーボードを前にすると全然打てないか、もしくは極端に遅くなってしまう人が増えているのだそうです。キーボードで文字を入力するのは確かに最初は骨の折れることだと思いますが、ちょっと練習するだけですぐ速く打てるようになるものです。ひと昔前は「タイピング練習ソフト」なるものが家電量販店のPCコーナーに置いてあったものですが、最近ネットの画面上で無料でタイピング練習をできるサイトがたくさんあります。最近やってみて面白かったのが「寿司打」というサイト。これは「お手軽3000円コース」「お勧め5000円コース」「高級10000円コース」とあって、それぞれ難度が異なります。やってみると、たとえばお手軽3000円コースだと、最後に3000円払っていくら得（損）と出てきます。ちなみに私は高級10000円コースで、「1万円はらって3000円お得」という判定。まあまあでした。ハマりだすとちょっと熱くなってしまうタイピングゲーム。タイピングができないという人は、進学した時にタイピングができなくて「今どきの学生は……」なんて言われないうちに、ちょっと息抜きでチャレンジしてみませんか？